

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

リュウキュウマツ赤枯れ個体のサンプル採取

11月19日(水)

令和7年11月の初旬、八重山農林水産振興センター職員は、石垣島内で数本まとまって赤くなっているマツを発見した。同時期に石垣市へも、市民の方からマツが集団で赤くなっているとの通報があったようで、同月19日(水)に県と市の合同で赤枯れ個体のサンプル採取を実施し、森林資源研究センターへ診断を依頼した。

石垣島含む八重山地域は、松くい虫(マツ材線虫病)被害の未発生地域となっていて、水際対策や早期発見・初期防除が求められている。

そのため松くい虫被害については、これまで林業研究会や各種講習会などで関係者に対し説明・指導を行って、地域一丸となって発生に目を光らせている。

複数の離島を有する竹富町においても、町の広報ツールを用いて松くい虫被害対策について周知してきたことから、住民からの通報や町職員のサンプル採取実施など、早期発見への体制が整えられている。

また今年度は、本庁森林管理課が発注した戦略的防除調査検討委託業務において、松くい虫被害未発生地域での侵入防止に向けた取り組みとして石垣島で現地調査が行われることから、当該事業も活用・連携して、引き続き松くい虫被害対策に取り組んでいきたい。



赤枯れ個体の遠景



サンプル採取の様子

(報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川)